

## 評価結果概要版

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

令和6年度

認可保育所

法人名称	宗教法人安養寺
事業所名称	光徳保育園
事業所所在地	東京都江戸川区平井6丁目53番7号
事業所電話番号	03-3618-0511

### 事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え(事業者の理念・ビジョン・使命など)	<p>1) 「生命尊重」みんなで生きる中で、ひと・もの・生き物・自然、みんな大事でみんな笑顔の輪という理念の下、人的・物的な環境を考えている。</p> <p>2) 子どもの主体性・自分らしさを環境を通して見守る保育を心掛けている。</p> <p>3) 子どもの姿から保育の環境を計画し、実施後は振り返り、記録している。</p> <p>4) 子ども一人ひとりを尊重する保育を展開し、職員間も一人ひとりを尊重する意見交換ができるようになった。</p> <p>5) 子どもが自ら進んで(自主的に)遊びを選び、体験することから、考える力を育て、協力することを知り、社会の中で生きる力、生き抜く力を身につける環境を考える保育の振り返りをしている。</p>

### 全体の評価講評

#### 💡特に良いと思う点

- 主体性を育む保育の充実に向けて、子どもの遊びの姿を観察し、子どもの視点と保育者などの大人の視点から保育環境の考察を重ねている**  
 園の理念でもある、子どもの主体的な活動の実現に向けて、乳児期からの保育者の関りや、保育室、園庭の保育環境の整備に取り組んでいる。0歳児から、子どもの意思を尊重してやりたくない気持ちも受け入れ、自分の考えを持って行動することができるように、保育者の関りや保育室内の環境に配慮している。職員は、子どもの遊びや食事の際の姿を観察して、玩具の選定やゾーンの場所を考察して変更や場所を増やすなど、子どもが主体的に行動し、興味・関心のある玩具で時間を忘れて熱中して遊び、自らの力で成長していけるように関わっている。
- ICT化により業務が大幅に改善され、職員の働く環境の満足度を上げるとともに、サービスの質の向上につながる取り組みに注力している**  
 ICT化により、日案、ブログ、連絡帳、保護者との連絡などにシステムを導入したことで、日々の職員の業務処理の改善が大幅に進んだ。それにより、職員の休憩時間の確保や勤務時間の短縮、有給休暇の取得や希望休の取得、急な休みの対応など、職員の働く環境が大幅に改善された。空いた時間で職員同士の対話を頻繁に行い、子どもの環境の変化などの把握や、研修した内容を保育士間で共有している。また共有した内容をクリエイティブ皆議で取り上げ、実施に向けた行動に活かすなど、サービスの質の向上や業務の改善に活かす取り組みに力を入れている。
- 異年齢保育を通して、子ども同士の関わりが深まり、個々の特性を尊重しながら、社会性や道徳心が自然に育まれる環境になっている**  
 園では異年齢保育を取り入れており、その環境の中で子どもたちは、自分より年上児の活動を見て見通しを持ち、「自分もやってみたい」という意欲が湧ききっかけを得ることができる。また、年下児に対しては「困ってれば手伝いたい」「できるところを見せたい」という思いやりの気持ちや主体性を育むことができる。これらは、園の保育方針である「子どもの可能性を最大限に伸ばす保育」を具現化したものである。一例として、園庭で4歳児が1歳児の遊びを見守り、足けり乗用玩具にまたがる1歳児を優しく後ろから押してサポートする姿が見られた。

#### ✔さらなる改善が望まれる点

- **園の保育理念のもとに、行事をどのような活動にしていきたいのか、言語化し、保護者、子どもに伝えていくことが期待される**

園では、子どもが主体となる保育への転換を図る取り組みの一貫として、行事についても見直しを進めている。毎朝、子どもは、室内か外遊びをするかを自分で決めて意思を伝え、保育士は子どもの選択に合わせて配置を調整している。日常から何の活動に参加するかを子どもが選択することを重視し、そのような中で、行事のあり方を模索している。一方、保護者調査の中には、行事が減って残念だという声が少なからず見られた。園の保育理念のもとに、行事をどのような活動にしていきたいのか、言語化し、保護者、子どもに伝えていくことが期待される。

- **事業所の経営を長期的視野で続けていくために、事業所が求める人材の採用と育成に注力し、体制を整えた上で園児数の拡充が望まれる**

園児の定員129名に対して、園児は109名の状況にある。その要因の一つは、事業者の理念、「子どもの主体性・自分らしさを環境を通して見守る保育」を実践していることで、国の配置基準よりも手厚い職員を配置していることにある。また、職員の退職などに伴い、目指す保育を担える人材の採用、育成を丁寧に行うため、人材確保に時間を要している。現在の園児数、保育士数、保育内容は、とてもバランスが取れており、園児にとってもよい環境であるが、より採用活動と人材育成に力を入れ、コアとなる人材を確保し、園児数の拡充につなげてほしい。

- **インスタ等を活用し、特色ある本園の保育の真髄を発信し、保護者の園理解や、広く地域社会とのネットワークに役立ててほしい**

伝統的な仏教寺院の外観からは想像しづらいが、豊富な玩具や素材が整う園舎の中で、職員の良好な人間関係や協力体制のもと、子どもが自由にのびのびと遊び、生活している。園の活動が子どもの心身の発達に役立っていると考える保護者は99%にのぼる。一方、調査結果の中で、園が力を入れている戸外遊び、行事、安全などの項目でも、「どちらともいえない」の割合の高い項目がある。ブログやインスタも活用して保護者に届きやすい情報の発信を工夫し、園の魅力を発信して、保育へのファンを増やしていきたい。

## 事業者が特に力を入れている取り組み

### ★ 対話を重視するクリエイティブ皆議の場を中心に、円滑なコミュニケーションがある

過去には、経営者層会議としていた会議を、保育を子ども主体に変えていく中で、職員の保育の考え方を一つにしていく必要性を認識した。こうした流れで、主任が主催する“クリエイティブ皆議”を設置し、「対話」についての研修も実施し、意見を伝えやすい環境を重視している。対話によって、お互いの保育に対する気持ちや意見をじっくり話す場が生まれ、これまで以上に保育の中の子どもの様子や具体的な環境整備について活発な意見が交わされるようになった実感を持っている。

### ★ 子どもの姿の記録の充実を図り、検証結果を職員間で共有し保育に活かしている

園では、子どもの姿や友達との交流、興味・関心、熱中していることを日誌などに記録して共有している。併せて、保育者の関わりや保育環境の見直しなどの課題も記録して、経過を明確にしている。また、会議やラインでエピソードや問題点などを職員間で話し合い、多様な視点から意見交換するしくみがある。それにより、0歳児から5歳児クラスの在園する子どもの好きなこと苦手なことも把握、特に、3歳から5歳児の異年齢クラスの運営に関しては、2歳児からの継続した個々の発達過程の詳細を把握し、共通認識を持って保育に活かす体制を整えている。

### ★ 食育計画を基に月に一度給食会議を開催し、食に関心が持てる様々な工夫がされている

年間の食育計画に基づき、全クラスで月に一度の食育活動を実施している。また、栄養士を交えた毎月の給食会議では、各クラスの喫食状況をもとに献立の改善点を話し合い、具体的な食育内容を検討し、実践に活かしている。これらの取り組みを通じて、子どもたちは食材や調理方法に興味を持ち、苦手な食べ物にも挑戦するきっかけを得るなど、食欲の増進に効果を上げている。さらに、毎月の給食日よりでは、家庭に向けた食に関する情報を発信し、園内と家庭の両方で、食育の推進に向けた取り組みを積極的に行い、子どもたちの健やかな成長を支えている。

## 利用者調査結果

### 調査概要

- **調査対象**：2024年8月14日現在の施設の利用者(保護者) 95世帯(利用者総数 109名)を対象とした。
- **調査方法**：アンケート方式  
アンケート調査による方法。保護者には、ウェブ調査回答用URLおよびIDを配布し、回答はウェブ上で収集した。
- 利用者総数：109人
- 利用者家族総数（世帯）：95世帯
- 共通評価項目による調査対象者数：95人
- 共通評価項目による調査の有効回答者数：77人
- 利用者家族総数に対する回答者割合（%）：81.1%
- 調査項目：[共通評価項目](#)

有効回答者数/利用者総数  
77/109

1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	はい 99%		
□どちらともいえない：1% □いいえ：0% □無回答・非該当：0%			
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	はい 97%		
□どちらともいえない：3% □いいえ：0% □無回答・非該当：0%			
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	はい 91%		
□どちらともいえない：8% □いいえ：1% □無回答・非該当：0%			
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	はい 78%	どちらともいえない 18%	
□いいえ：4% □無回答・非該当：0%			
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	はい 66%	どちらともいえない 23%	
□いいえ：9% □無回答・非該当：1%			
6. 安全対策が十分取られていると思うか	はい 70%	どちらともいえない 26%	
□いいえ：4% □無回答・非該当：0%			
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	はい 77%	どちらともいえない 17%	
□いいえ：6% □無回答・非該当：0%			
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	はい 92%		
□どちらともいえない：8% □いいえ：0% □無回答・非該当：0%			
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	はい 82%	どちらともいえない 16%	
□いいえ：3% □無回答・非該当：0%			
10. 職員の接遇・態度は適切か	はい 96%		
□どちらともいえない：4% □いいえ：0% □無回答・非該当：0%			
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	はい 88%	どちらともいえない 12%	
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	はい 82%	どちらともいえない 17%	
□いいえ：1% □無回答・非該当：0%			
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	はい 94%		
□どちらともいえない：6% □いいえ：0% □無回答・非該当：0%			
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	はい 82%	どちらともいえない 17%	
□いいえ：1% □無回答・非該当：0%			
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	はい 88%		
□どちらともいえない：6% □いいえ：5% □無回答・非該当：0%			
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	はい 82%	どちらともいえない 18%	
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	はい 55%	どちらともいえない 31%	いいえ 13%
□無回答・非該当：1%			